

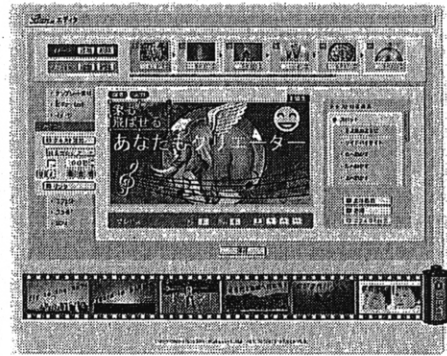
初心者も作成簡単に

ヒューズィーブログなどに配信

ウェブサイトの制作などを手掛けるヒューズィー(東京・渋谷、吉原丈巨代表取締役)は写真やイラストなどに特殊効果を加えた動画を初心者でも簡単に作成し、ブログなどで配信できる新サービスを始めます。消費者参加型メディア(CGM)の増加で、自分で撮影した写真などを使って動画を作るニーズが高まっている。六月からソフトの期間貸し(ASP)サービスなどの形で提供する。

フラッシュ動画

自分で撮影した写真を使い、フラッシュ動画を作成・配信できる(Flash on 2.0のメイン画面)



新サービスは「Flash on(フラオン)2.0」(<http://flaon.jp>)。ブログなどで配信しやすいフラッシュ形式の動画を作成できる。フラッシュ動画はこれまでパソコンに専用ソフトをインストールして作る必要があったが、同サービスはウェブブラウザ(閲覧ソフト)上で作成できる。静止画を主な素材として使い、スライド風やテロップ風の特長効果も施して動画に仕上げる。静止画だけでなく、動画や音楽を組み込むことも可能。素材として、利用者が用意した写真や映像などを使えるほか、プロが手がけた写真、イラスト、楽曲などを一万点以上用意した。

み型のタグを自分のウェブサイトやブログに張り付けるだけで配信できる。素材があれば初心者でも数分の操作でつくれ、専用ソフトを使う場合に比べ簡単という。コピーされにくい特徴もある。

ヒューズィーはネット広告代理店と組み、ASPなどの形で企業に販売する。ブログサービスなどの企業が会員に無料で「フラオン2.0」を提供するといった利用を想定している。メインの操作画面周辺に配置する広告による収入などを見込む。月額料金は一人当たり数百円程度になる見通しで、企業からまとめ

て徴収する。

フラオンはヒューズィーが韓国企業と日本国内独占販売契約を交わし、日本向けに改良した。

フラッシュは米マイクロメディア(現アドビシステムズ)が開発。マウスやキーボードの入力で双方向性を持たせられ、回線速度が遅くても視聴に耐えるアニメが作成でき、普及した。作成ソフトは有料だが、再生ソフトは無料配布されている。